

清掃活動を実施する際の注意事項

清掃活動を実施する際は新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮し、以下に注意してください。

<受付・準備>

- ・ 最新の国や県の新型コロナウイルス感染拡大防止関連情報を把握し、開催も含め、内容を検討する
- ・ 人との接触を避け、対人距離を確保する（できるだけ2 mを目安に）
- ・ 参加者が密にならないよう呼びかける
- ・ 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は参加しないよう呼びかける
- ・ 体温計などで発熱者を特定し参加を制限する
- ・ 「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」の活用や参加者名簿の作成など、参加者への感染関連情報の提供体制を構築する
- ・ 手指の消毒液を設置する
- ・ スタッフや参加者に手洗いや手指消毒、マスク着用の徹底を図る
- ・ 他人と共用する物や場所を最低限にし、適宜消毒する
- ・ 各自治体のごみの分別方法を参加者に周知する

<休憩時>

- ・ 一度に休憩する人数を減らし、対面で食事や会話をしないようにする
- ・ 休憩スペースが屋内の場合は、常時換気することに努める
- ・ 共用する物品（テーブル、いす等）は、定期的に消毒する
- ・ 休憩の前後に手洗いをする

<活動中>

- ・ 人との接触を避け、対人距離を確保する（できるだけ2 mを目安に）
- ・ マスク（※）や軍手を着用する
※高温・多湿の環境下におけるマスク着用は、熱中症リスクが高くなるおそれがあるため、こまめな水分補給を心がける。また、人との距離を十分にとれる場所で、マスクを一時的にはずす。
- ・ なるべくトングなどを使用してごみを拾い、ごみに直接触れない
- ・ 飛沫が付着するごみ（マスク・ティッシュ・たばこ・空き缶・ペットボトルなど）は、飛沫が付着する部分に直接触れないようにトングなどで拾う（軍手をしている場合も、直接ごみを拾わないようにする）

<ごみの廃棄>

- ・ ごみ袋は、いっぱいになる前に、空気を抜いて、しっかりしばって封をする
- ・ ごみに直接触れないようにする
- ・ 袋が破れている又は破れそうな場合は二重にする

<活動後>

- ・ ごみを捨て、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗う
- ・ 作業着などの衣服は洗濯し、使用した道具を消毒する